

## 「ふるさとの森づくり県民の集い」に参加 (第 68 回長野県植樹祭)



平成 29 年 6 月 3 日（土）、「この森に 夢と希望が つまってる」を大会テーマとして、「平成 29 年度ふるさとの森づくり県民の集い（第 68 回長野県植樹祭）」が、長野県、中部森林管理局などの主催により、小県郡長和町姫木平で開催されました。

今回の植樹祭では、昨年度、長野県で開催された全国植樹祭の開催理念の一つである、「植えて・育て・利用する「森林・林業のサイクル」を、取り戻そう」を具現化するため、長野県の代表樹種であるカラマツの人工林の帯状伐採地に、新たな「サイクル」の出発点として再びカラマツを植栽しました。

快晴の空の下、地元小学生ら約 1,000 人の参加者が、カラマツの植樹に心地よい汗を流しました。

長野水源林整備事務所は、職員が植樹に参加するとともに、会場にブースを設け、事業紹介のパネル展示を行い、多くの参加者に水源林の果たす役割を紹介し、水源林造成事業について P R を行いました。

当事務所は、今後もこのようなイベント等の機会を利用して、より多くの皆様に、水源林の重要性について理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。

